

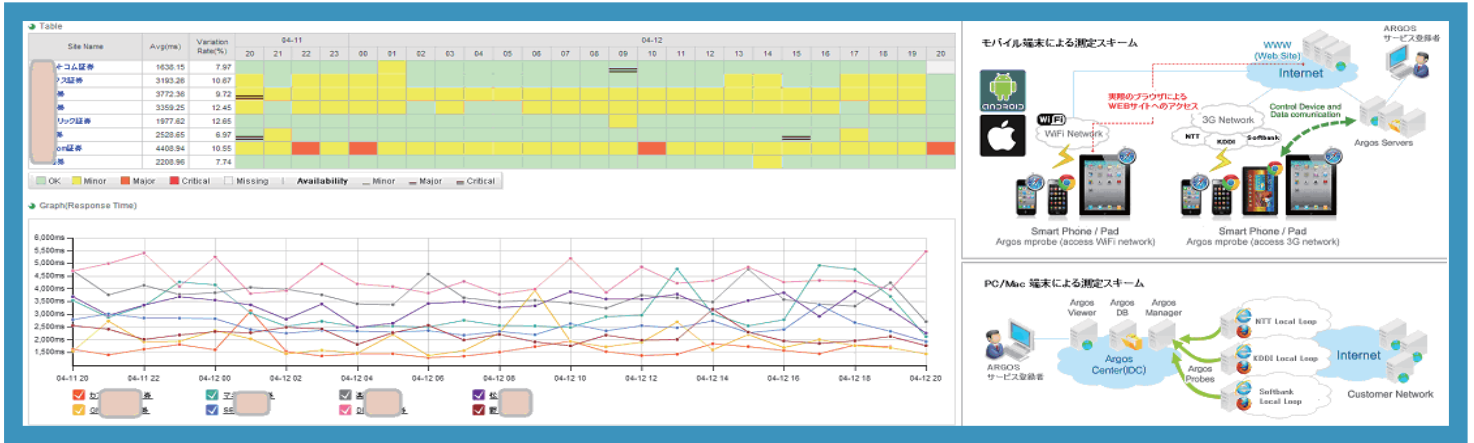


眠らない電子の眼 **ARGOS**

あなたのオンラインビジネスを **見える化** します



ARGOS が「見える化」をお手伝いします。



実ユーザー環境でのWEBサイト性能を「見える化」

各地のARGOSプローブは実際の利用者環境 (End User Environment)とまったく同じ環境に設置されています。サードパーティツールやCDNなどの挙動も含め利用者の実際の体感性能を数値化して「見える化」します。

多様化する利用環境での性能を「見える化」



ARGOSプローブは国内3大キャリアネットワーク回線に接続されています。また、モバイルプローブのリリース (13年2月) により、実際のスマートフォンやタブレット端末などを使用して3G,LTE, WiFiといった環境での測定も可能です。

技術知識がなくても判るコンポーネントレベルでの性能の「見える化」

ARGOSの測定データはWEBサイトを構成するコンポーネント (スタイルシート、アプリケーション、イメージ、テキスト) 毎にその性能を「見える化」します。ARGOSの直感的なグラフィックは深い技術知識を持たない管理者にも一目瞭然のデータを提供します。

ネットワーク要素レベルでの性能データの「見える化」

「ラストマイル」を含む実エンドユーザ環境での計測によりネットワーク要素それぞれの性能データも収集します。DNS, Socket, Server, 1st Packet, Download Completeの5段階をすべてのコンポーネント毎に集計して「見える化」します。

ビッグデータ・ツールとして傾向と対策を「見える化」

ARGOS分析では、計測開始から現在までの過去データをすべて利用することが可能です。これはアクセス解析ツールの統計データを補完します。また、競合するWEBサイトの挙動や性能などを観測することにより、よりの確なWEB戦略への投資判断や外部ツール (WEB広告など) の選択が可能になります。さらに、他の様々なデータ分析ツールとの相互分析によりビジネスに不可欠なビッグデータとして強力なマーケティングツールとなります。

問題発生箇所の「見える化」はアラーム機能を使用

ARGOSはリアルタイムでの定点観測を行っており、測定データの急激な変化に対してアラームを設定することが可能です。システム性能の劣化やページ容量、部品数の変化などは様々な要因によって発生しますが、時には外部からの進入や攻撃などの兆候にもなりえます。また、運用を重ねていくうちにページ内においてリンク切れの発生や、存在しないコンポーネントをリクエストし続けていることも少なくはありません。そのような事象もARGOSで検出することが可能です。

ページ遷移性能の「見える化」



インターネット・ショップなどでの重要な性能はメンバーログイン、商品検索、決済処理などといった複数のWEBページにわたって展開される処理です。単一WEBページの性能解析だけではなく、ARGOSはこのような複雑な処理についてもその性能を監視し続けることでWEB事業の機会損失を最低限にとどめる措置を講じることが可能になります。

ARGOS に関するお問合せ先